

令和4年度 立山地区町政懇談会②

開催日時 令和4年9月2日（金）午後7時～午後8時

開催場所 芦峯公民館

出席者 立山町 舟橋町長、酒井副町長、杉田教育長、清水総務課長、
松野水道課長、成瀬住民課長、安川建設課長、
瀬本美しいまちづくり推進室長、野田農林課長
地元議員 後藤議員、平井議員
立山地区区長会長 安川会長
企画政策課 山田課長、高田課長補佐、竹山主任、松本主任、橘主事、
高塚主事

参加者数 26名（うち町職員2名）

1 挨拶

町長挨拶

2 懇談会

（1）町からのお知らせ

①千寿ヶ原地内水道導水管の布設替について

②燃やせないごみの収集について

（2）立山地区協議事項

（佐伯 元信：芦峯寺区長）

①芦峯寺地内の町道のグレーチングの修繕について

（建設課長）

現地を確認した。取手等については修繕を終えている。今後も定期的に現地のパトロールを実施するが、気付いた点等あれば、建設課へご連絡をお願いしたい。

（安川区長会会長）

②千垣地内の空き家・空き地対策について

（美しいまちづくり推進室長）

町の空き家対策については、立山町空き家等対策計画及び町独自の空き家条例に基づいて対策を進めている。空き家は所有者個人の財産であり、管理義務責任は所有者にある。2件の空き家については状態が悪いまま放置されていることを確認し、所有者へ適切に管理するよう依頼した。今後、所有者が適切に管理しない場合には、立山町空き家等対策協議会の意見を伺ったうえで、空き家法に基づいて助言・指導、勧告等の措置を講じることも考えられる。令和3年度に実施した空き家実態調査では、町内に450件の空き家を確認した。町全体でも空き家は増加傾向にある。危険な空き家については、所有者による適切な管理を、また、使用可能なものについては積極的な利活用を促すことで空き家の解消に取り組んでいきたい。

(3) 自由意見

- 横江から芦峯寺地内までの県道について、道幅が狭く、雪のない季節にも何度も車が落ちている。拡幅を県に上申してもらいたい。

- この県道をよく利用しているのが芦峯寺、千垣、千寿ヶ原の3集落の住民である。この道路は観光道路で利用者が多く、自転車も多く通る。狭い道路で自転車とすれ違う際にはかなり危険な思いをしている。住民は町職員と話す機会はあるが、県職員と話す機会はほとんどないので、県へ伝えてほしい。

また、芦峯寺地内の道路もかなり狭い。これは立山大橋ができた時からの懸念事項である。バイパスという話も出ていたが、地すべり地であることや集落内の拡幅ということから話が進まなかった。現在、立山土木事務所へバイパスの設置を要望している。町からの力添えも必要だと考えている。

- 雪が降ると、道路脇の樹木から多くの雪が落ち、車や人に当たることがある。先日、飛騨の森林組合を訪れた際、道路から5m程度は木が切り倒され、車や人に当たらないようになっていた。立山町でも検討してはどうか。千垣トンネル手前は木が大きく張り出し、危険な状態となっている。

(建設課長)

この県道は、観光道路であり、生活道路でもあるため、重要な道路であると認識している。県では、横江、芦峯寺の付近で側溝のふた掛け等の工事を実施している。町から県へは重点要望として、早期完成を要望している。その工事終了後、どの区間から整備するのか、またバイパスの件など、地元の考えを踏まえて町から県へ要望したいと考えている。

樹木からの落雪については、他の地域の情報を収集し、ご意見に沿うことができるか検討したい。

- 横江の集落内の拡幅工事は順次進めていくこととなっている。また、県道については、観光道路ということで、町から重点要望をいただいている。千寿ヶ原までの区間を全て洗い出しして、拡幅計画を立てようと思っている。町からも後押ししてほしい。

木の伐採についても、重々思っている。町には樹木の所有者洗い出しにご協力いただきながら、県としても進めていきたい。

芦峯寺集落内の道路の改良について、側溝の蓋掛け等を継続して実施してきたが、あと1、2年で終了する見込みである。その後、集落内の計画を立てる予定としている。バイパス案についても、排除することなく検討していきたいと考えている。バイパスが芦峯寺の要望として一本化された場合には、町には旧道の処理をお願いすることになると思われるので、その際にはご協力をお願いしたい。

- 自宅は県道前にあるが、県道を走る車が雪を巻き上げていく。県道沿いの住宅の前には、雪を防ぐためブルーシートが設置されている場合がある。警察等にも相談しているが、一向に良くならない。自宅前を除雪していると、頭から水をかけられ、毎日ずぶ濡れになっている。何とかならないか悩んでいる。現状を知っていただきたく発言した。

(建設課長)

融雪水による水たまりができないようにするため、水切り用の側溝を横方向に設置している路線もあるが、全区間設置することは難しいと考えられる。また、通行時、スピードを落とすというのは、ドライバーに言い続けるしかないと考える。現状は理解したので、どういったことができるかは県と相談したい。

(町長)

千垣の融雪水は川の水を使用しているため雪が溶けにくく、また、信号機のない道路のためスピードを出すものがあるのだと思う。看板の設置等について、警察へ相談する。

- 河川水を融雪に使用する場合、多くの水を撒く必要がある。現在、集落内の融雪については、集水井の水（地下水）を使用するように変更しているが、水量が不足しているため、全てを変更することができていない。県としては、そのような工夫もしているが、他に何かできることがないか検討したい。

- 夏場も含めて、バスやトラックがスピードを上げて通行するので、それらも踏まえて検討していただきたい。道路の横断歩道を徒歩で渡る際、手を挙げてもこれまで停まった車は1台もない。

(町長)

そのような行為は取り締まりの対象となるため、警察に相談してはどうか。

- 駐在にお願いしたことはある。

(町長)

雄山高校や雄山中学校付近では、以前は停まらなかったが、今では多くの車が停車するようになってきた。町からも警察へ取り締まりを要望する。

- 1点目は、県道沿いの除草時に出た草について。路肩に置いておくと草が軽くなり良いのだが、観光客にその光景を見せて良いのか。数年前に1号公園から立山駅にかけて、1週間程度置いてあったことがある。ほかの観光地でこのような光景は見たことがない。申し訳ないが、刈った草については、早めに撤去してほしい。

2点目は、消雪について。芦峯寺を過ぎて立山駅へ向かうと新雪が積もっている。夜になると、車のライトに雪が付き、真っ暗になり何も見えなくなる。消雪装置を設置してほしい。

最後に、除雪について。千寿ヶ原は30~40cm積もっても朝まで除雪してもらえない。20cm以上積もるような場合には、夜間（夜12時前まで）にも1回程度は除雪してもらいたい。

- 草刈りについては、できるだけ速やかに撤去するようにしたい。消雪は設置区間が決まっているのでご理解いただきたい。除雪については、大雪の場合にはできるだけ早く出動するようにしたい。

(建設課長)

近年は日中除雪も行っているので、状況を見ながら検討していく。

- 岩峯を過ぎてから街灯がなく真っ暗になるため、2~3基追加で設置してほしい。

(町長)

検討する。

- 資料には千寿ヶ原の水道管を露出配管にするとあるが、あの辺りは落石・倒木多く、破損する可能性があるが、露出配管で大丈夫か。なぜ埋設にしないのか。

(水道課長)

露出配管としたのは、場所が中部山岳国立公園並びに国有林であることから、制約があり、重機の乗り入れや掘削等の許可が出ないためである。設置の際には落石等を避けるように設置する予定である。

- 現在仮設している消防ホースについても、仮設の期間が長すぎる。なぜもっと早くできないのか。

(水道課長)

仮設の期間が長くなったのは、申請等に時間がかかったためである。破損した際には、モニター等で把握ができる。異常が発生した場合には速やかに現地に対応を実施するので、ご理解いただきたい。

- 路地へ入ったところに住んでおり、路地の前に集水井があるが、草刈りがされていない。建設課へ草刈りを依頼した際、職員から毎回「集水井とはなにか、何のためにあるのか」と質問される。職員が知らないことがショックである。また、草刈りをお願いしたい。

(町長)

昨年流出した油が集水井に残っており、臭いの問題でも周囲の方にご迷惑をおかけしている。県の仕事ではあるが、少なくとも建設課職員は知っておく必要がある。明日、職員へ周知する。

- イノシシが大量に発生している。芦峯寺にいない方が所有する農地の草刈りがされず、イノシシの通り道になり困っている。人身事故等が発生する前に草刈り等の対策をお願いしたい。

(農林課長)

イノシシ対策については、イノシシ檻の設置等を実施している。草刈りについては、地域の皆さんに実施していただくしかないと考える。一度現地を確認し、猟友会の方とも相談しながら進めたい。

3 閉会

後藤議員、平井議員 挨拶

終了